

平成15年8月27日

各 位

会 社 名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 竹 内 透
(コード番号 8692 東証・大証2部)
問合せ先 企画開発部長 風 神 浩 三
(TEL 03 - 3666 - 9169)

「株式等売買注文の市場執行」を来春から開始

1. 株式会社だいこう証券ビジネス(代表取締役社長:竹内 透、本社:大阪府中央区北浜2-4-6、東京本部:東京都中央区日本橋兜町14-9、以下「DSB」)は、本年1月、証券決済制度改革のひとつとして市場毎に行う清算業務を一元化する統一清算機関が設立されたことを機に、証券業登録し清算取次業務に参入いたしました。
今般、これを拡大発展させる「株式等売買注文の市場執行」を行うための具体的作業に着手いたします。
2. 株式等売買注文の市場執行の実現に向け、DSBは、平成15年8月26日付けで株式会社野村総合研究所(以下「NRI」)とシステム提携に関する覚書を締結し、売買注文の取次チャネルを確保する計画であります。

[市場執行へのビジネス展開]

- ・金融庁は昨年8月、多様な投資家の参加や市場の公正・透明性確保に向けた証券市場改革促進プログラムを発表しましたが、DSBは、これを新たなビジネスチャンスと捉え、株式等売買注文の市場執行を来春から開始することといたしました。
- ・長年に亘り証券会社のバックオフィス業務を拡大・発展させてきたDSBは、東証等の取引参加者資格の速やかな取得を目指し、上記計画の実現により、証券会社のための証券会社として証券市場改革に貢献いたします。
- ・DSBのバックオフィス業務は、有価証券保管等、従来の業務にとどまらずシステムを用いた証券決済に係るデータ処理や事務処理を展開しております。
また、メーリングセンターでは、設備を充実させ証券売買における取引報告書や投信目論見書の封入・発送業務を受託いたしております。

- ・特にオンライン専門証券向けには、口座開設時のスターキットの送付や資金入金確認業務等を加えたフルラインの業務を開発し、ビジネスモデル特許を出願いたしております。
- ・今般の市場執行業務が加わることによりバックオフィス業務全てに亘るサービスの提供が可能となり、日本版クリアリングファーム事業を本格的に展開します。

(証券会社側のアウトソース効果)

- ・既存証券会社...経営の合理化を一段と進めることができる。
- ・新規参入証券会社...証券会社立ち上げに際し、初期投資負担が軽減できる。

(バックオフィス業務の設備・要員が不要)

(株式等取扱商品)

- ・株式、ETF、転換社債型新株予約権付社債、国債、外国株、カントリーファンド等の上場商品(先物・オプション取引を含みます。)

[システム提携]

- ・証券会社は、STP化(注文から売買照合、決済までの一括処理)、コンプライアンスの厳格化やペーパーレス化等の制度改革に対応したシステム構築を迫られていますが、予想されるシステム投資コストは大きく、いかにコストを抑えるかが経営の重要な課題となっております。
- ・DSBは、NRIとシステム提携し、STAR- 体系にDSB向け証券業務システムを構築することにより、この課題に応えるものであります。

(提供するシステムの特徴)

DSBが提供するシステムは上記システムに市況情報や、顧客向け提案書が作成できる営業員サポートツールを組み込んでいます。

NRIや市況情報ベンダー等の協力により証券業務システム端末と市況情報端末等とが共用できるため、コストパフォーマンスが高く、証券会社の情報システムコストの削減が可能となります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

クリアリング業務部 小林

電話(03)3666-2357

E-mail:kobayashi@daiko-sb.co.jp

市況情報や様々なコンテンツを取り入れた、

新しい形の市場執行(取次・清算)モデル

問合せ先
企画開発部
和田、関根(03-3666-9169)

だいこう証券ビジネス

